

令和8年度 第3回甲賀市社会教育委員の会議 議事録(要約)

日時：令和8年(2026年)7月31日(金)

15時00分～16時45分

場所：甲賀市役所別館101会議室

出席者 (委員)西村委員長、岡村副委員長、東委員、古賀委員、福井委員、松本委員、辻委員
奥村委員、岩永委員、平井委員、武村委員 以上11名
(図書館)篠原信楽図書館長
(事務局)松下次長、林課長、川上課長補佐、稲葉主事、沢井社会教育統括指導員
傍聴者 なし

委員総数13名の過半数が出席。甲賀市社会教育委員会議規則第3条第2項の規定により、過半数を満たし会議成立。

1. 開会 市民憲章唱和

2. 課長あいさつ 柳井市みどりが丘図書館の視察報告を含む

3. 委員長あいさつ 県連絡協議会第1回理事会報告を含む

4. 協議事項 ここより委員長が議事進行

(川上補佐)甲賀市立図書館の在り方に関する提言骨子案1についての説明 別紙資料

(委員長)ただいまの提言について、図書館との協議により一部修正されましたので、修正点について、図書館長より説明を受けます。

(篠原館長)甲賀市立図書館のあり方に関する提言骨子案2についての説明 別紙資料

骨子案については皆様の貴重なご意見を反映するものであり、大きく変えるものではない。

図書館サービス計画に沿った形でわかりやすく表現したもの。

主な変更点は比較表にて説明。

① 現状と課題 中間世代を中高生、20代と変更

② 基本理念 サービス計画の使命・目標を先に示した。

③ 重点施策 柱1 ①と同じ表現に

④ 重点施策 柱4 読書環境の整備に図書館未利用者への対応を追加

⑤ 図書館未利用者への対応 具体的に表現

⑥ 全体の方向性 ソフト面のサービス計画にハード面を加え、骨子案を修正

(委員長)今回は委員としての提言骨子をまとめるため、グループ別に協議せず、全体で協議確認していくので、まず提言の背景と位置づけについて意見を出してください。

(委員)社会情勢の変化について、図書館に対するニーズの多様化という面を入れてはどうか。

甲賀市の現状と課題について、公共施設の老朽化という面を入れてはどうか。5つ目の項目の検討の結果としてという語句は不要ではないか。

(委員長)公共施設の老朽化は大きな問題だが、図書館の在り方という提言に入れなくてもいいのではないか。

(次長)甲賀市の公共施設の総合管理計画の中で、図書館5館のあり方を検討するという方向性が書かれている。その中で今回の提言をお願いしているので、老朽化という観点を入れて書かれてもいいのではないか。

(委員長)老朽化という語句も入れていくことでいいですか。ニーズの多様化はどうですか。

(委員)ニーズの多様化に加えデジタル化を入れてはどうか。価値観も変わっているので、それに図書館だけではなく、行政も応えていかねばならないのではないか。

(次長)背景と位置づけの所が後段の重点施策に繋がっていくと思われるので、今の文言は入れて

いってもいいのではないか。

(委員長)検討の結果としてという文言は削除でいいですね。2 番の図書館が目指すべき基本理念について意見を出してください。

(委員長)サードプレイスという語句は行政用語か。

(次長)第3の居場所という意味だが、分かりにくいので表現を考えたい。*をつけて注釈をつけることも考えたい。

(事務局)図書館サービス計画の第3次計画が全員に配布されていなかったもので、次回までに配布する。

(委員)こどもの本離れ等読書活動を支えるという部分は本離れ等に対する読書活動という表現に変えた方がいい。

(委員)ここの中間世代という表現も併せて訂正してはどうか。

(委員)3次計画の使命という表現はコンセプトという意味か。少し堅いのでは。

(館長)使命はスローガンとして使わせてもらっている。

(委員)図書館という名詞を使命とするのではわかりにくいのでは。

(委員)目指すべき基本理念という表現を目指すべき図書館の姿という表現をすれば下段になりますという語句がとれるのではないか。

(次長)この部分は第3次計画として固まっているものなので、次の「下記の取り組みを推し進めてほしい」部分について論議をお願いしたい。

(委員)重点施策の柱1から4について意見をお願いします。

(委員)柱4のアウトリーチサービスの表現がわかりにくいのでは。

(館長)アウトリーチ事業と名して、移動図書館運行等、主に図書館外へ出向いていく活動をしている。図書館以外での一定周知されている表現だと考えている。

(委員)他にもDXなどの表現もあるが、この提言は誰に向けて行われるものか。広く市民に向けて行われるならわかりやすい語句にすべきではないか。

(館長)言い換えられる語句は、わかりやすい表現にすべきと考える。その語句でないと適切に表現できない場合は、注釈をつけて対応したい。

(事務局)提言は基本的には教育委員会に対して出すものだが、一般市民にもわかりやすいもの方がいい。

(委員)情報リテラシーやブックスタートもわかりにくい。

(委員)リテラシーは小学校の情報教育でも使っている。情報の正しい使い方という意味だと思う。

(委員)小学校でも情報倫理、リテラシー教育は行っているが、子どもはリテラシーを学んでいるという感覚はない。

(次長)リテラシーは考え方であり、ブックスタートは施策事業名だ。混在している面もあるので、表現はわかりやすくまとめた。

(事務局)柱4で子どもの読書活動についての状況や学校図書館との連携について、学校現場の様子や考えを聞きたいという意見もあったので、状況をお聞かせいただきたい。

(委員)連携はしっかりできている。ブックトークや「ぶっくるん」も来ていただいている。学校図書館司書さんが必要な本、子どもたちが読みたい本をそろえてもらっている。図書館の様子も変わっている。しかし、本を読むことそうでないこの差はある。これは学校だけでは何ともしにくい。AIの影響も出てきている。保護者の姿勢も大いに影響がある。

(次長)北九州市の教育委員会によると「AI」VS「読書」というイメージでなく、「AI」＋「読書」という発想が必要。AIを正しく使うためには正しい言語表現力が必要で、そのための読書により表現力を高める必要がある。本市の教育長からも基礎的なところをしっかりと据えていくことと体験的な部分や、感性、探究的な力をつけていく必要があるとの発言があった。個人の能力を高めるためにも読書活動はしっかり押さえていく必要があり、その中での図書館の役

割は強くなってくると思われる。

(委員)今、学校図書館司書と公立図書館と連携してブックリストを作っている。連携強化という面では取り組んでいる。学校図書館司書は数校掛け持ちのため、さらに連携を強化するためには労働環境の改善も必要ではないか。

(委員)ブックスタートは本との初めての出会いという意味だと思うが、保育園と図書館との関係はどうか。

(委員)保育園にも図書館から本を貸し出してもらったり、お話し会にボランティアの方が来ていただいたりしてもらっている。ブックスタートは国の政策で、4か月の赤ちゃんに本をプレゼントしてもらっている。各園でも絵本をそろえてもらっているが、予算の問題もあり、保育士が、図書館の本を借りてもらっているところもある。

(次長)連携はかなりやってもらっているが、さらに進めるとなると学校図書館の体制整備が課題になる。これを提言に入れていただいてもよい。

(事務局)学校図書館の中には中学校の図書館の充実を考えなくてはならないのではないかな。

(次長)提言の中身を子ども読書計画の中に取り込んでいくことも必要かと考えている。

(委員)柱②の情報保障の推進は情報活用の推進の方がいいのではないかな。また、デジタル環境整備は機器の整備ではないかな。

(次長)情報保障の表現はわかりやすい表現を考える必要がある。

(図書館長)Wi-Fi環境は5館できている。それも含め新たなニーズにどう対応していくか考えていくという方向で考えていきたい。

(委員長)次に持続可能な運営体制の在り方についていかがでしょうか。

(委員)現行のままの規模・サービスの5館体制にこだわらずという部分は1の現状の所の現行施設の維持は困難であることとつながっているのか。なぜ困難なのか。予算面か。

(課長)施設の老朽化による修繕、建て替え費用が前提になっている。機能面での複合化や地域性を考慮した施設の在り方に繋がっていくのかと考えている。

(委員)今までの論議をうまく表現していただいている。

(委員)1の現状の所にある再編が必要になる場合は…の表現が4の運営体制の在り方には地域への影響の部分をここにも記載すべきではないかな。

(委員)その表現は5の提言の実現の地域への影響への配慮で記載されているのでいいのではないかな。

(委員長)今も少し出ましたが、提言の実現に向けての部分について意見をお出しください。

(委員長)ないようですので、皆さん熱心にご協議いただいたことに感謝申し上げます。次に全国社会教育研究大会参加について、事務局より説明を受けます。

(事務局)ありがとうございます。本日の協議いただいたものをこちらで修正し、次回お示しすることになるかと思います。全国大会の参加につきましては、本日委員の皆さんの予定を出していただき、それに基づいて参加をお願いするということによろしいかな。

(委員長)慎重なご審議ありがとうございました。本日の協議はこれで終わりたいと思います。

7. 連絡事項

8月5日の県の研究会は岡村副委員長出席

他の研修会は要項が届き次第決定。

次回は委員の日程を調整し8月末～9月初めに開催

まとめられた提言を委員長、副委員長で教育委員会に提出

8. 閉会挨拶 岡村副委員長